



保育園だより



年々、夏が長く春と秋が短く感じますね…そんな中でも四季折々の自然とのふれあいは変わらず、春の訪れを感じる頃には、「つくしあったよー」「桜も咲いてたー」と散歩から帰って来るなり子ども達と保育士の声が響きます。そんな声にほっこり…心が暖かくなります。子ども達と嬉しい気持ちを共有し、子ども達の声に耳を傾け、子どもを真ん中に楽しく保育をしています。

「こども主体の保育」に真摯に取り組む中で課題も増えますが、保育士同士で悩みを共有し、相談しながら保育士の連携を図ることができています。子どもも保育士も共に成長し、なのはな保育園らしい保育を続けています。

親子行事では、保護者との交流を深め毎回たくさんの方が参加してくれています。

今年度も5月の「親子農道散歩」に始まり…「夏まつり」「運動会」「親子遠足」「卒園式」全て予定通り行いました。どれも園児たちはもちろん、兄弟姉妹、保護者、職員たちも一緒に楽しむことができました。



「運動会」では、競技内容を見直し、誰もが負担なく楽しむことを一番の目標にしました。親子競技がほとんどで…お父さん・お母さんたちは大活躍！兄弟姉妹の出番も多かったです。その中でも、『借り物競争』は大変盛り上がり、大人たちの方が楽しんでいました。

「おじいちゃんおばあちゃんの出番があんまり・・・」という意見を頂いたので、来年度は祖父母の皆さんが参加できる競技も増やしていきたいです。

大きな変化としては、業務の ICT 化に伴い「キッズダイアリー」のアプリを導入することになり、保護者との連絡帳は今年度で終わりです。連絡帳でのやりとりが携帯ひとつでできるので保護者の皆様は全員喜んでいました。保育園と保護者との連携は変わらずに密に取っています。紙で残らないのは大変さみしいですが、これはまさに現代の大きな流れであり、時代のニーズなので仕方ないですね。

